

## 「意見交換会」について

「第7期名寄市障がい福祉実施計画」を策定のため、障がい者部会員、市内障がい者支援事業所、市内障がい者関係団体の管理者、代表者と「意見交換会」を開催しました。

1 目的：令和6年4月に施行する第7期名寄市障がい福祉実施計画は、名寄市の障がい者福祉向上を目指す計画であり、市内で意見交換会を開催し、本計画により多くの意見を反映させることを目的とする。

2 日時： 日 時：令和5年11月9日（木）18：30～20：10

場 所：駅前交流プラザよろーな 1階大会議室

参加者：18名

（部会員5名、事業所10名、関係者団体3名）



- 3 内容：・テーマ「3年後の名寄の障がい福祉について」  
主な3つの課題  
○ 就労について ○ 相談について ○ 居住について

今後3年後の暮らしやすい名寄をつくっていくために、障がい者の「福祉」について、「必要なこと」「名寄の良いところ」「やってみたいこと」等皆様の思いを自由に聞かせいただくため、A,Bの2グループに分かれ、グループワークを行ない、情報共有を行った。

- 4 その他：グループワークで出された主な意見は、以下のとおり。

＜「就労」をテーマにしたグループワーク＞

**【良いところ】**

- ・本日開催の意見交換会のような、事業所が顔を合わせる場があるところ
- ・現在の事業者数と利用者数がちょうど良いバランスである。  
(事業所同志で、利用者の奪い合いが起きていない等)  
また、業種が重複していないところ。
- ・街の規模がちょうど良い。小回りがきく。
- ・農福連携などJAと連携ができているところ。
- ・利用者で現在も長く仕事をしている人が、訪問時に楽しそうに自慢話をしている。
- ・障がいを持った子どもたちが、生まれたところで育ち就職できる環境がある。
- ・支援者と利用者の顔が見える関係がある
- ・一般就労している障がい者が多い(サポート体制もある)

**【必要なところ】**

- ・仕事量、支援員の確保。支援員の高齢化が進んでいる。今後3年後どうしようと思う。
- ・市内事業所との連絡調整協議の場。
- ・年齢に関係なく働ける場。活動できる場。
- ・就労を希望する方と就職先のマッチング(ミスマッチもある)
- ・障害の有無に関係なく、働く場がなく、名寄から出て行ってしまう。働く場があれば名寄に戻ってくるかもしれない。
- ・身体障害に対応できる作業があるといいな
- ・事務的な作業を中心とした就労事業所
- ・働ける職域を増やす
- ・一般就労や福祉就労する前段階の中間的な就労
- ・中高生対象とした児童・生徒へのフォローアップ
- ・就労移行事業所が増えればいいなあ

**【やってみたいこと】**

- ・現状のニーズ調査(深掘りして)
- ・夜間学習の場
- ・名寄には大学があるので、大学生と関わり色々助けてもらう。
- ・仕事体験イベント
- ・企業向けの福祉見学会

## <「相談」をテーマにしたグループワーク>

### 【良いところ】

- ケースワーカー、相談員がいるところ。
- 気軽に連絡をとりあえるところ。皆さんと顔見知り。
- ネットワークがある
- 切れ目のない相談体制
- スピード感がある。
- 基幹相談支援センターがある。
- 計画相談と相談支援を一体的にやっている。

### 【必要なところ】

- 障害の有無に関係なく、相談できる場。そこから広がっていければ。
- 地域活動支援センターについてわからない人もいるので、もっとPRできれば良いと思う。
- 聴覚障害者の場合、相談に通訳が必要である。手続きが面倒である。専従がない。同障者相談員のような立場の人が必要ではないか。
- 各事業所、相談支援事業所の制度上の立ち位置。
- 基幹相談支援センターの役割の見直し。
- 相談支援事業の機能の明確化と役割分担。
- 聴覚障がい者対応の相談窓口がほしい(通訳がいればOKでは不十分と思う)。
- ICTの情報共有。
- 相談案件の進捗状況の連携と把握(定期的リスト等)。
- 相談までに至らない人を支えるシステムづくり。
- お金と人材
- 分野を超えた連携(福祉に限らず)。

### 【やってみたいこと】

- 事業所によって対応が違う。相談員の質が違う。連携がとれる場が必要である。
- 相談支援事業所の共同(協働)体制化。

## <「居住」をテーマにしたグループワーク>

### 【良いところ】

- グループホームが充実している。
- 名寄市立総合病院などの医療が充実しているところ。

### 【必要なところ】

- 世話人の確保。
- 高齢化の対応。
- 知的、精神のグループホームはあるが、身体障害者のグループホームが少ない。
- 家に居場所のない人、引きこもりの人でも使える場。グループホームでなくても、何か支援がほしい。
- 聞こえない人には通訳も必要となる。聞こえない人の居場所。
- 大学生を活用したグループホーム(大学生のGHでの就業について一部課題あり)
- 在宅を支えることができる支援、人
- 一人暮らしの体験の場 → 移住の方の住居とか使えないか。
- 聴覚障がい者が老後に住む場所が欲しい。

### 【やってみたいこと】

- グループホームの支援も必要だが、サテライトという形の空いている市営住宅の活用も必要。
- 王子マテリアの跡地活用。
- 空き家を上手に利用できないか。
- 自衛隊官舎の空き部屋の活用。

その他：障がい分野ではデジタルが進んでいないので、ICT 化の推進。

養護学校が市内になく、近隣の美深や鷹栖までの移動に課題のある家庭への支援が必要。

→名農キャンパスに養護学校を作っては

名寄市立大学生が地元で実習できる。市外からも利用者が集まる